



074489-000-5

特57-271

尺八之葉

角屋 可好/著

M36

CEI-1804



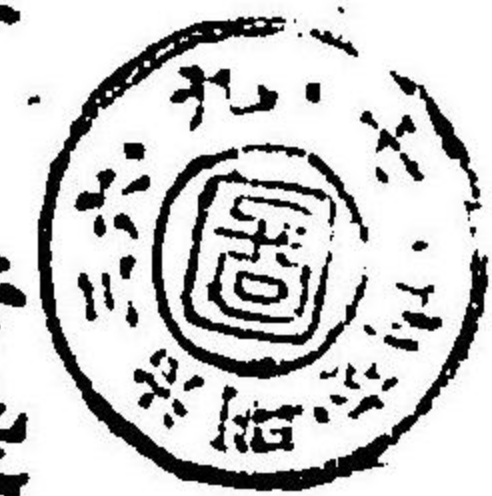
天竺之八次

224
734

集
2

尺八の道

緒言



尺八ハ五穴ヲ以テ十二律ノ音聲ヲ自由ニ發スル者ニテ西洋樂器ノ如ク機械的ノ作用モアラズ管呼吸ト指頭ノ熟練ニヨリテ自ラ備フル所ノ雅音ヲ發ス故ニ我國美術ノ一トシテ古來ヨリ韻士雅客ノ最モ愛玩スル樂器ナリ現今音樂ノ流行ニトモナヒ都鄙ノ別ナク到ル處該樂器ノ音ヲ聞ザルナキハ嘉ニスベケレド其方法アルヲ知ラデ徒ラニ竹音ヲ弄スルノ實ニ快樂トナスニタラズ是則明玉ヲ持チテ臚カザルニ似リ寔ニ雅曲ノ爲ニモ又惜ムベキナリ吾皇學ノ師松本翁先年ヨ

リ尺八ノしをりテフ書籍ヲ著述セヨ
ト諭言屢々ナルモ可好已レノ拙劣ヲ
耻チ再三辞スレド又弊メラルモ再
三ナレバ止ムナク筆取ル事トナリ又
斯テ此書他流ト雖モ美シキ所ヲ採リ
自流トイヘドモヤサシキ所ハ捨テ彼
我折哀シ專ラ我快道流ノ改良ヲ圖リ
且斯道ノ擴ク行ハレン事ヲ望ミ聊カ
初學者ノ爲メト身ヲ顧ミズ是ニ書著
ハシ又世上ノ識者予ガ拙キヲ咎ガメ
給フナクバ幸甚

明治 年 月 日

角屋可好誌

凡 例

一 我快道流ノ尺八奏曲ハ專ラ琴三絃ニ合奏ヲナスヲ旨
トシ偏ニ雅曲(上方歌)ヲ而已奏スルニアレド本書ハ
素人初學者早習ニ便利ヲ與ヘンガ爲メ奏シ易キ雜曲
(流行節)ノ類ヲ彼是ト舉ゲタリ識者は尤メ給フナ
カラレ

一 奏曲ヲナスニハ先ズ次々ニ記ス十二律ヲ記臆シ而シ
後々甲乙丙ノ三音ニ吹別クヘシ

一 尺八ハ五穴ヲ稱スルニ下方ヲ第一穴トシ順次ニ算ヘ
裏穴ハ則チ五穴ト知ルベシ

一 尺八ノ持様ハ左手ヲ上ニシ三指ヲ三四五ノ三穴ニ充
テ右手ハ下ニシ二指ヲ一ニ二ノ二穴ニ充テ左右ノ中指
ト右ノ親指ニテ尺八ヲ保持スルコト別圖ヲ見テ知ラル
ヘシ

一 吹様ハ歌口(上ノ先キ)ノ七八分ニ下唇ヲ當テ向フニ
三分ヲ舌ニテ潤ハシ呼吸ヲ緩ニ入ルヘシ

一 尺八ハ其名稱ノ如ク壹尺八寸ヲ以テ音調ノ適度トス
故ニ是ヨリ短キハ琴三絃ニ合奏ナシガタシ且ツ諷フ
ニ困難ナルベシ若シ短寸ノ尺八ヲ以テナサバ特ニ其
術アレドモ茲ニハ略ス

一 尺八ノ筒内ニ水分ノ滯リアレバ其音律變スルヲアリ
又保管シナクニモ害アリ故ニ吹奏ノ後チ必ス左記ノ
露斷ヲ以テ筒内ヲ拭ハルベシ

一 尺八ヲ吹奏ナスニ關シ身構又ハ他ニ禮式等多クアレ
ド事長ケレハ省略ス

一 本書記載ノ數曲中雜曲（流行歌或ハ高イ山又ハ十日
ゑびす）等ノ如キハ初學者ノ奏シ易キタメ特ニ簡易
ナル指振リニ音譜ヲ記シ而シテ雅曲ノ重キニ隨ヒテハ
自ラ指振リ重クシ奏曲ノ雅味ヲ供ヘタレバ解シガタ
キ點ハ唱節ニ照ラシ悟ラルベシ

一 雜曲ノ如キハ地方毎ニ唱節ニ幾分カ異ナルヲアレド
大体ヲ採リテ譜附ヲナス若シ是等ノ場合ニ於テハ其

唱節ニ隨ヒ適宜ノ加減伸縮ヲ計リテ合奏セラルヘシ
一 本書ハ初心ノ人々習ヒ易キヲ旨ト著シタルモノニシ
テ專ラ信切ヲ先トスレドモ若シ曲譜中解シガタキ點
ハ斯道ノ識者或ハ著述者ニ就キテ問ハルレバ懇ニ説
明スベシ

記事目次

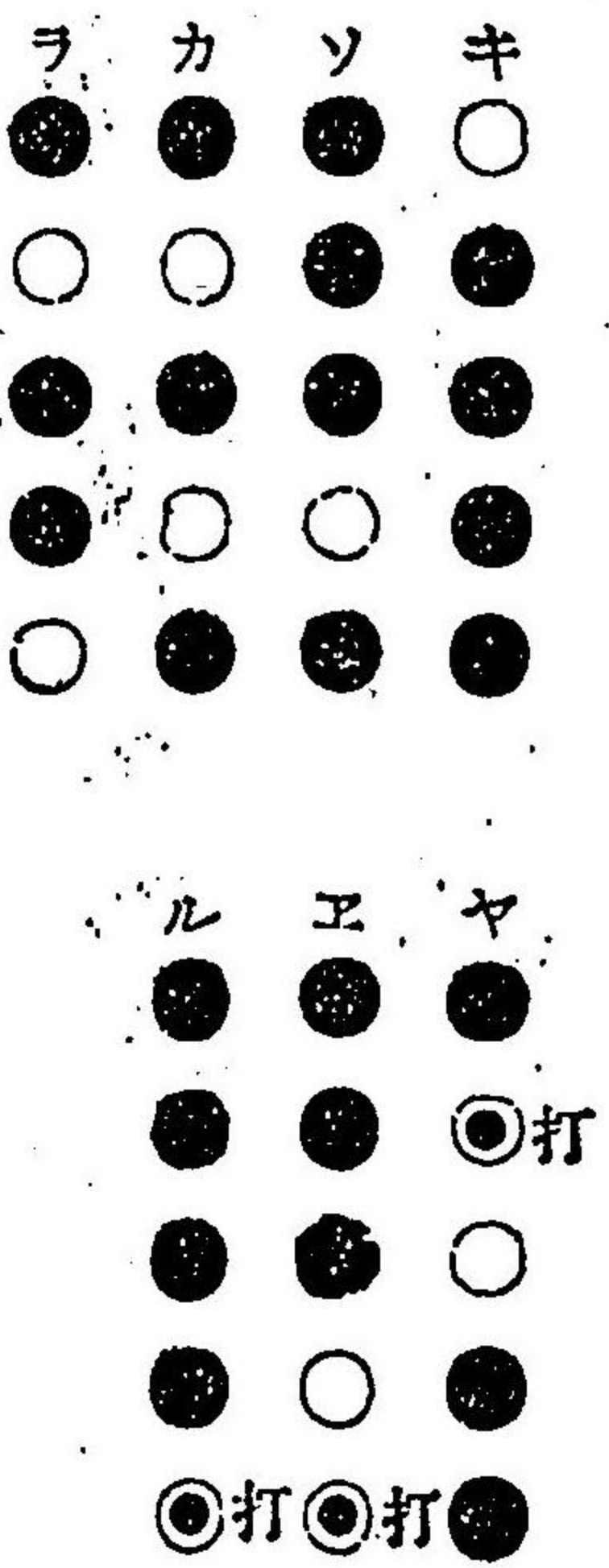
- 第一 尺八持様の圖
- 第二 十二律譜表
- 第三 外律の事
- 第四 調子の事
- 第五 長短符の事
- 第六 呼吸符の事
- 第七 間止符の事
- 第八 吹別符の事
- 第九 露斷の事

曲譜目次

- 第一 律調しよべ(奥)
- 第二 全上(中)
- 第三 全上(口)
- 第四 算へ歌
- 第五 手まりうた

- 第六 金比羅船
- 第七 梅が枝
- 第八 高イ山
- 第九 竹になりたや
- 第十 書生歌
- 第十一 四季
- 第十二 しろ乃乃め
- 第十三 なけた節
- 第十四 金のとけい
- 第十五 流珠節
- 第十六 竹に雀
- 第十七 縁かるゑ
- 第十八 法界節 (かへうた)
- 第十九 鯛つり
- 第二十 十日ゑびす
- 第二十一 浅くとも

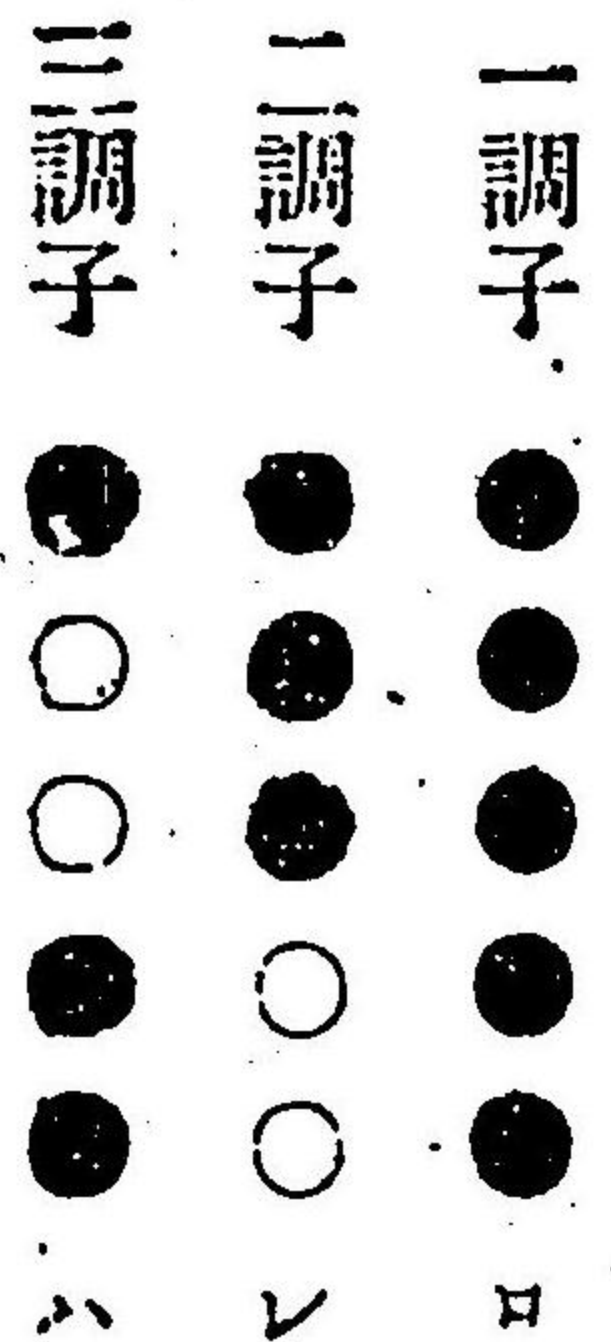
第三 外律の事



此他ニモ外律アリテ秘曲或ハ雅曲等ノ節振りニ依リ
稀ニ使用ス本編ニハ必要ナキヲ以テ省キ第二編ニ右
ノ類ヲ記載シ發刊セントス

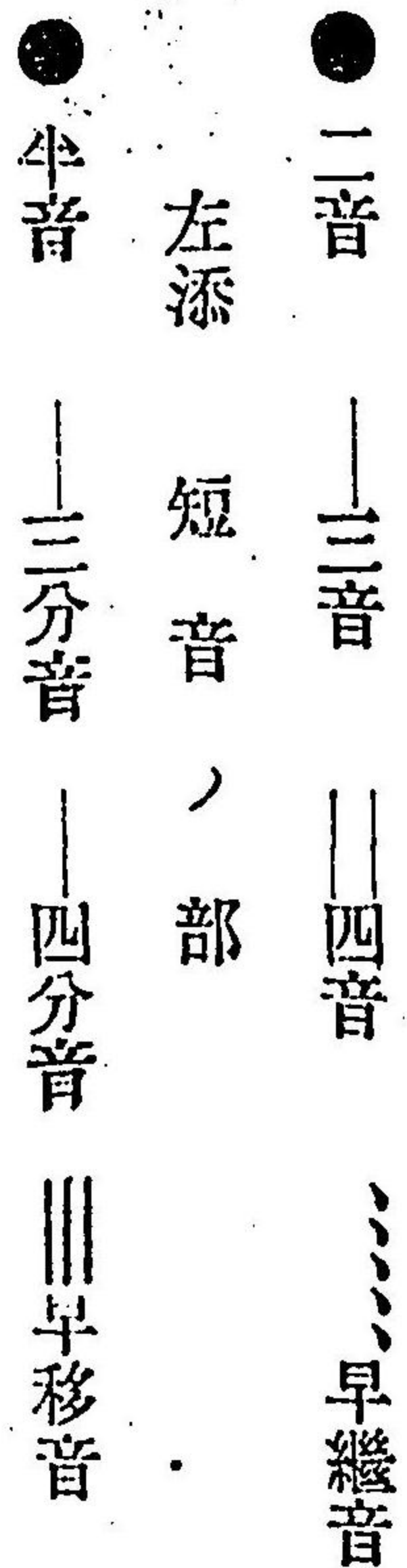
第四 調子の事

本流ハ調子ヲ左ノ如ク本調子ニ上リ三下リト三別シ
三絃等ニ合奏ナスキハ本調子ハ一調子ヲ二上リハ二
調子ヲ三下リハ三調子ヲ合方ノ糸ニ傳移スベシ



第五 長短符の事

長短符トハ發音ニツキテ云ヘリ則曲中律譜ノ左側又
ハ下ニ添附セシテ該表ノ通り心得能ク注意シテ吹奏
スベシ且添附セザル分ハ通常ノ一音ト知ラルベシ



第六 呼吸符の事

呼吸ハ左記ノ如ク四別シテ律譜ノ左肩ニ添附ス
甲ハ 高律
乙ハ 低律
丙ハ 通常ノ呼吸ト知ルベシ故ニ附記セズ
ハハ 半律故呼吸ヲ弱メテ吹クナ

第七 間止符の事

○ハ休止符ニテ琴三絃等ノ「ヨロイ」或ハ「ソーレ」ト
云ヘル間ナルヘシ

(一)ハ間ノ手符ニテ三絃ニスレハ唱歌ノ半途ニテツ
チナン」ト云ヘルガ如シ

(二)ハ拾間符ニテ吹奏ヲ止メ合方ニ唱ハスノミナリ
大歛字 ハ呼吸ヲ繼クヘキ個所ナリ

小缺字 ハ呼吸ヲ斷ルヘキ個所ナリ

第八 吹別の事

甲ハ唇ニテ吹キ乙ハ腹ニテ吹キ丙ハ咽ニテ吹クノ心
持ナニスベシ

又三調子ノ一ハ螺二ハ鼓三ハ鈴等ノ音聲ニ似テ發ス
ルヲヨシトス

第九 露斷の事

露斷(つゆきり)ハ白絹若クハ綿布ニテモ和ラカキチ
壹尺貳寸ノ方形ニ裁テ其隅ニ尺八ヨリ長キ紐ヲ結付
ケ紐ノ先キニ玉ヲ付置キ尺八ノ歌口ヨリ管尻ニ落シ
テ貫キ取り筒内ノ露ヲ拭フベシ

第一 律調 (奥)

律調ハ管調又ハ調子トモ稱シ其流派毎ニ異ナレリ茲
ニ舉ルハ我快道流ノ律調ナリ奏曲ナスノ以前必ず是
ヲ吹キテ試ムベキモノナルガ故ニ俗ニゑらべト云フ

乙 ● **ロ** || ツレ | **ロ** || **ロ** | **チ** | レ || レ

| **○** **チ** | レ || **ハ** || **ハ** **ロ** || ツレ ● 甲 ●

ロ | **ハ** **チ** | レ | **ツ** **ツ** **ロ** | **ハ** **チ** |

レ **ツ** **ツ** **レ** || **ハ** **チ** || **ハ** **イ** | レ |

レ | **ツ** **ツ** **ロ** || **ハ** **ハ** **ロ** || **ツ** **ツ** **ロ** **ハ** ● 乙 ●

| **ハ** **イ** | **ヒ** | **ヒ** | **ハ** **ハ** **ハ** | **ヒ** **ヒ** ● 甲 ●

ハ | **イ** | **チ** **レ** **レ** || **ツ** **ロ** | **ロ** || **ツ** **レ** ● 乙 ●

| **ツ** **ロ** || **ロ**

第二全上 (中)

乙 ロ || ツレ | チーレ | ハ || ハイ | ツロ
 ハ || ハ ○ ツー ツロハ | ツツロハ
 チレーレロ | ハイハチーハ | レー
 ツロハ | ツーローハチ | レーレ

第三全上 (ロ)

乙 ロー ツレ | ロ || ロ | レー | チ | ハ || ハ
 ツろーハ | ロ | ツレーレ | ○ | チー | レツ
 甲 | ロ | レ | ロー | ハチ | レーレ

第四算へ唱 二上リ

一ツトモ。人も通らぬ山中を書生が娘をつれてゆく親
 はしらぎにか

二ツトモ。ふたりは互に袖をひくわたしは苦界で三味
 をひく あのをたのしから

(以下略ス 幾ツチ唱フモ是ニ同シ)

ひ ど っ と せ
 ハーハチレ | チハ | ローツハ | ○ | チハ
 も ど を ぶ ぬ やま な 甲
 ロ ツーレ | ツロ | ○ | ハハチレ | チハ
 を 番 せ る が び す め を
 ロ || ハ | ハ | ツ | ○ | ロ | ハウ | レツ | レチ
 っ ね | て ゆ く | お や は し | ら
 ハーハチ | レツ | ロ | ロー | ロツ | レウ
 甲
 レ | ツ | ○ | レ || レ

第五手まり歌 二上リ

「一ツトヤ。人のまゝころが第一よ第一よ。學んでたさめ
 て勉強せよ。勉強せよ

「一ツトヤ。一夜あくれば賑やかでにぎやかで。たかざ
 りたてたる松かさり。松かさり

(以下略ス 幾ツテ唱フモ是ニ同シ)

ちちハ●チハーロ●ハ ツーレツロ●
 ちハハチ●ハ ロロハウレー●○
 だいのいちよ ○ ツ●レウ●ウレ
 さめて ベン強せよ ウレ ツツ
 強せよ ツレー

第六 金比羅船

二上リ

金比羅ふね船追手に航ゆけてるゆらゆらゆらゆら
 れバ四國は講州なかの郡象頭山金比羅大権現一度参
 れバ

(此歌ノミ數回唱ヒ繼クルコアリ其場合ニハ後々
 程次第ニ早メテ吹クヘシ)

ツーレレ ツレツレ チーハハチハ
 ●●

ちハハ ロロローハ ツーロハ
 ツーレレ チーレチ ツーレツロ
 ハロツロハチハロロ ハロハチレ
 ハチチレツロハ

第七 梅か枝

二上リ

梅か枝の手水鉢たゝいてれ金が出るあらえ若ともれ
 かねが出たならば其時の身受をどうぞた乃む

ツレレツレレ ウレツロ ハーハ
 ハハハレチハロツレツロ
 甲 ーロウレツレチレツ
 甲 ーハハハレチハロツレ
 ーツローハーローロ

第十書生歌

二上リ

書生さんすきでまもんをする乃トやなるか親よかん
さうけ學校落第しサ、ホチカイ仕方が無いうらぬ尺
八手よ持ち門に立つ門に立つ

書せゐさん
ツレチハレレ(ツレ)レウレツツ
●●●
んそするのじや
ロハツツレウ ツロハハロ
やに うんさうけ 學校らく
ツハ ロツロハ ロツツロレレ
ロ(ハロ)ツロレハハ(ハ)ロロハ
ないから ね ハハウーハチレ
ツレチハ●ロ ツロハ●チハチレツ
手にもち ●●●
レレツ 甲 チレツ
乙

第十一四季唱

三下リ

「春ハ嬉しやふたりそろふて花見乃酒庭乃櫻にねほろ
づきそまに邪尸する雨と風ナヨイト散らして又さあ
ぬ

(夏秋冬イツレモ同ジ)

「夏も嬉しやふたりころんで涼みの舟風がまんきです
たれまく戀乃瀬川よ棹たぬチヨイト浮名がながれ
また

「秋はうきしやふたりあろんで月見の窓びろ乃はふる
をきくのはなふるどわからぬぬこの胸チヨイトわた
この氣がゆみぢ

「冬はうれしや二人あろんで雪見の酒苦勞しらせの銀
世界話とつゆきは雪もつむチヨイトとけますこたつ
あめ

「春の花見は山田宮川堤のきくら夏を辛洲で夕をぐみ
秋を岩内乃紅葉狩り冬ハ朝熊で雪見酒

とるレレ
甲 チハレチレツ
乙 ●
二一

りそるふて はなみのさけ^{二三}
口 ツレウレ ツツレツロ―ハ―

にはのさぐ^甲らに^甲おぼる
チハ―口ツレツロ―ハ^甲ツロハ―

乙[●]ハチレ[●]ツレチ[●]ハハチハ[●]口ツロ[●]

かせ[●]ちよいとちらして[●]またさかそ[●]
チハ[●]ツロ[●]ツツロハ[●]口ツレツレ[●]

甲[●]チツレ―[●]ハツ―レ[●]

第十二 しのゝめ 本調子

「君も別きて松原ゆけばおがるゝなんどしよ松の露や
らなみたやらし乃ゝめのストライキきりとはつらひ
ね

「ぬじよ逢をとて山道ゆくもおがきりやなん乃そ乃道

乃遠いゆいとやせぬたそがれにストライキきりとは
ゑらる翁

きみに[●]わかれて[●]まつばら[●]ゆけ[●]
ハロ―[●]口口ツロ[●]ハウハロ[●]ツレ[●]||

レレ[●]○チハレレ[●]ウツレ[●]||[●]レウレ[●]

ウ[●]ハ[●]イ[●]チ[●]レ[●]ツ[●]レ[●]ツ[●]レ[●]チ[●]ツ[●]ロ[●]

ツ[●]レ[●]ツ[●]ロ[●]ハ[●]―[●]ハ[●]○[●]ツ[●]レ[●]ツ[●]ロ[●]ハ[●]―[●]

ロ―[●]ハ[●]チ[●]レ[●]ハイハロ[●]ツレツ[●]ロ[●]

ツ[●]レ[●]レ[●]ハ[●]ロ―[●]ロ[●]

第十三 なげたふし 本調子

「わたしはたまへになげこんた家もくらも。女房も子供
もわきへなげあんでハレワイサノサソラ投込たイヤ
なげこんた

「あけたくは何をなげた家もくらも。女房も子もど
て藝者ひとりよみんなあけたソラあけこんたイヤあ
けこんた

「今度撰擧て又あけた家もくらも。運動入費山もで
んぢもみんななげたソラあけこんたイヤはぢさらし

わしは 〇まへに 〇あ げ二四
 ロツツ 〇ハハハ 〇ハチ
 ハレレレ 〇ハハハ 〇ハチハレ
 レ〇レレレツ 〇まもも 〇わさへ
 チハチハイ 〇レレレツ 〇ハハハ
 〇チハハハ 〇ハハハ 〇チハハハ
 〇チハハハ 〇ハハハ 〇チハハハ

第十四 金のとけい 本調子

金乃とけると。きんどのをドめ。それむれたらしく
 たさるあ。くまをせや。いふことむきかぬぞへ。

さん 〇の 〇とけ 〇あ 〇と
 ツロ 〇ハハ 〇ハハハ
 〇レレレツ 〇ハハハ 〇ウレ
 ツロ 〇ハハ 〇チハチレレ
 〇レレレツ 〇ハハハ 〇チハチレレ

に 〇く 〇だ 〇さ 〇る 〇な 〇ハ
 チハチハチレレツ 〇レレツ 〇ハハ
 〇ハハハ 〇ハハハ 〇ハハハ
 〇ハハハ 〇ハハハ 〇ハハハ
 〇ハハハ 〇ハハハ 〇ハハハ

第十五 りうさう節 (利久節) 本調子

りさうへまざるならわらドはひてまぎき琉球ハ石原
 小いし原したりやよめくおんよたたくおてがん
 がん

利久 〇へ 〇ま 〇る 〇な 〇ら 〇ら 〇ら
 ハロ 〇ハハハ 〇レレレツ 〇ハハハ
 ハロツ 〇ハハハ 〇ウウ 〇ハハハ
 ツレウ 〇レレレツ 〇レレレツ 〇ウ
 〇レレレツ 〇ハハハ 〇ハハハ 〇ハハハ

ハ・ロ^ハーハイロ^両・ツ^ろーツ^ろ・ロ^どーハ^イ・イ
 ハ^ハ・ウ^ウーウ^ウ・レ^レ（レ^レーツ^ツ）ツ^ツレ^レ||レ^レー
 レ^レ・ロ^スーハ^ハロ^ロツ^ツーツ^ツレ^レ（レ^レ）レ^レ（レ^レ）
 ーレ^レ（レ^レ）ウ^ウーウ^ウ・レ^レツ^ツろ^ろーハ^ハ（レ^レ）レ^レ
 チ^チ（レ^レ）レ^レハ^ハーチ^チーレ^レレ^レチ^チーレ^レツ^ツ・ロ^ロ・
 ハ^ハ・ハ^ハ・ツ^ツーロ^ローハ^ハウ^ウ・レ^レ（レ^レ）ツ^ツ
 ロ^ロ・ツ^ツ（レ^レ）レ^レチ^チレ^レ・ツ^ツろ^ろハ^ハロ^ロツ^ツレ^レチ^チ
 ツ^ツ・ロ^ロ・レ^レろ^ろハ^ハチ^チ・チ^チハ^ハロ^ロ（ツ^ツ）ロ^ロレ^レ
 レ^レハ^ハロ^ロツ^ツろ^ろ・チ^チ||ハ^ハーロ^ロ

第十八 法界ぶし 二上り

「三曲乃水せめ火せ焚をいとはねと重忠きんのねさば
 きで。ホチカイいかな阿古屋もねーコレいかなる阿

古屋も白状する裁判上手

「撫るよりいつをほごいていをもとやんせ鏡ようつる顔
 の色ホチカイ胸のもつれをねーコレつれる女房よう
 ちどけてまごのぬこよ

ツ^三レ^レレ^レハ^ハ・レ^レーレ^レ（ツ^ツレ^レ）チ^チーチ^チレ^レツ^ツ
 ロ^ロハ^ハロ^ロツ^ツツ^ツレ^レチ^チツ^ツ・ロ^ロ・ハ^ハー（ハ^ハ・
 ロ^ロ）ツ^ツ・ツ^ツーハ^ハロ^ローロ^ロ・ハ^ハツ^ツレ^レ・ツ^ツろ^ろ
 ーロ^ロツ^ツハ^ハー（ハ^ハロ^ロ）ツ^ツろ^ろハ^ハイ^イハ^ハロ^ロ
 ツ^ツハ^ハーハ^ハ（ロ^ロハ^ハウ^ウ）ハ^ハウ^ウ・レ^レーツ^ツ・
 レ^レチ^チハ^ハーロ^ロハ^ハチ^チハ^ハチ^チレ^レツ^ツ||
 レ^レレ^レツ^ツ||レ^レチ^チハ^ハ

第十九 鯛つり 二上り

「淺くとも。浮名あがせし桂川。ね半をたびと長右衛門。ねもひはふるをむら鳥のつがひ。はあきぬこゝろかな」

● ツレーツ〜ハイ | ロツツツ (ロ●ツ
 | レ●ロ●レ●) (まよレレレ | 流レレレ | 乙チの
 ● ハチーレ●ツ | 甲ロ (ツ●ロレロ) | 飛ツ
 ● 甲ロ | 乙ロ ● 甲チハ | 乙ハ ● 甲チレ●レ
 | 乙チ | 甲ハ ● 乙レ ● 乙ツ ● (チレ | 乙チレ) | 乙チ
 甲チ ● 乙チ | 乙見 | 乙チ ● 乙レ | 乙ハ | 乙チ ● 乙レ ● 乙ツ ● 乙ハ
 ● 乙ハ | 乙ツ | 乙ハ (ハウウ) | 乙ハ | 乙チ ● 乙ハ | 乙ツ ●
 ● 乙ツ ● 乙ロ | 乙レ | 乙ハ | 乙ロ ● 乙ロ ● 乙ロ ● 乙ツ | 乙レ | 乙ロ ●
 ● 乙レ | 乙チ | 乙レ | 乙ツ | 乙ロ | 乙ハ | 乙レ | 乙レ

● 甲ロ | 乙ツ | 乙レ | 乙チ | 乙レ | 乙ロ | 乙ハ | 乙レ | 乙レ

第廿二 我 戀

三下り

「我戀ハ。細谷川乃丸木橋。わたるよやまわら渡らね
 也。すいたたかたよ逢はきやせぬ
 「我ふる也。住吉浦乃夕はまき。唯あをくとまつは
 かり。待つはうるものつらひもの
 「我戀の。ぬたりが中はよと乃川 流きの水よゆたて
 られ。顔を見ふがら逢はれやせぬ
 「さなきたよ。ねもきがうへ乃小夜衣。我妻ならぞつ
 海がさね。たつるみきをそやぶりやせぬ」

● 我ツ | 乙レ | 乙ツ ● 乙ロ ● 乙ツ ● 乙ロ ● (乙ロ ● 乙ツ ● 乙レ ●
 ● 乙レ ●) | 乙チ | 乙ハ | 乙レ | 乙レ | 乙レ | 乙レ ● 乙ウ | 乙レ ● 乙ツ ●
 甲(乙ツ | 乙ロ ● 乙ツ ● 乙レ) | 乙レ | 乙チ | 乙ウ | 乙レ | 乙ツ ● 乙レ | 乙チ | 乙レ

ツロレ (ハチハ・ロ) 渡るにや ツツ 三四 ツレ
 チツロハロ ツわ・ロツ らハねーウばーレ
 (ハ・ウウウレツロ) そツれ・ウた・レおウか・
たレに・ハロ逢ーツりーハロや・(ツロハせー
乙ツぬレ甲ロハねーロ ツレチレーツロ○
甲レチーハ乙ーチレ○レ乙ーチハイチ・レ
 ーツレ チレツロ ロツレチツーロ
 ハロツロ ハウレ ツロ・ハーロレ
 ロ・ハーロ

第廿三 夕くれ

本調子

「夕くれきよ。あがは見渡す隅田川。月に風清を待乳山帆
あけた舟が見ゆるをへアレ。鳥があく鳥の名の。都に

名所があるわいあ

三「明あたま。ながめ見渡を二見浦。朝日かゞやく浪の上
航あけた船がみゆるぞへアレ。鳥があく明がらむ。伊
勢地の名所もよるわいな

タレロ れロハウレ にウなーハイがロめ
 ーチみハわーチレ たハえーイロすーハイロ
住ツ田・ツ田・ロ田ーハイウが・ウはレ (ウハロ
 ハイハロ ハーイツ甲ロ甲ーロ甲・ロ月)
にロ風・ツ乙ハ情・ハをチレ・ウま・ハまロつーハハ
乙イチち・ハウやレまー(ロレレ乙ロロツハ
がロレレロ) はウあハげ・ウた・レふツねレ
がシウレみレゆ・ツ甲ロ甲ハロツそレえレ乙レ (チ
 ーレチレチハレレ・ツレロ) あれ

（ハロツ）どりぢな^くロ^くーハイロ^とハロ^り

三六

ツレロ^のハ^名ロ^ハウ^レの^ハツ^レ

甲

エ[（]みや[）]ハ[（]ウ[）]レ[（]エ[）]ツ[（]ロ[）]ハ[（]ロ[）]ツ

甲

チ^レツ^ハツ^ハロ[（]ロ[）]ロ[（]ロ[）]

○

ロ^ハチ^レチ^レツ^レチ^レロ^レ

チ^ーチ^ハロ^ハロ^レツ^ロハ^イ

ロ^レロ^ハハ[（]ハ[）]ハ[（]ロ[）]

第廿四 河 竹 本調子

河竹にの淨名をあかきどりきへお合つがひ。はなれぬ
をことりの中にとつ月をどくと合別をつらさま
袖をほるほんよやるせがなるわいな

ツ^河ロ^レツ^ロハ[（]ウ[）]レ[（]○[）]レ^甲

甲

乙

甲

ツ^レレ[（]う[）]さ^レレ[（]レ[）]ツ^チ

○

レ^ガチ^レツ^ロハ[（]イ[）]ロ[（]ツ[）]レ^甲

○

ツ^ロハ[（]ウ[）]レ[（]ウ[）]ウ[（]ハ[）]イ[（]

○

ロ[（]ロ[）]ハ[（]ウ[）]レ[（]ウ[）]ハ[（]ロ[）]レ[（]チ[）]チ[（]

○

チ^チチ[（]チ[）]（[）]ツ[（]ぢ[）]ひ[（]チ[）]レ[（]ツ[）]

ウ^レツ^ロツ^レウ[（]ハ[）]レ[（]ハ[）]レ[（]

○

ツ^ロハ[（]チ[）]チ[（]ハ[）]ロ[（]ロ[）]ツ^レ

○

ロ[（]ロ[）]ハ[（]ツ[）]ツ[（]ハ[）]チ[（]ハ[）]（[）]ロ[（]ハ[）]

○

レ[（]ツ[）]レ[（]ハ[）]ウ[（]レ[）]レ[（]ツ[）]ツ[（]ロ[）]ハ[（]

○

ハ[（]ロ[）]ハ[（]ハ[）]チ[（]レ[）]ツ^レウ^レ

○

ツ[（]ロ[）]ハ[（]ロ[）]ツ[（]チ[）]レ[（]ツ[）]ツ[（]ハ[）]

○

ツ[（]ロ[）]ハ[（]ロ[）]ツ[（]チ[）]レ[（]ツ[）]ツ[（]ハ[）]

三九

レ●ロ●ロ●○ローハウレローツ
 レレツレウレロレハ―イ 甲●●●
 ハ●ロ●ハ●ロ●レ●○チレ●ツレハ
 チレ―ツ―レ

第廿五 松すくし

二上り

うたひはやせや大黒。一本目には池乃松二本目には庭乃まつ。三本目には下り松四本目には滋賀の松。五本目には五葉乃松六ツ背乃高砂乃。尾上乃松や曾根乃松。七本目には姫小松八本目には濱乃松。九ツ小松を植並へ十でとよく乃伊勢乃松。此松ハ有清の松にてなさけありはの松か枝ぞ。くさけはなびく。相生の松又いついづもの約束の日を得時まつ暮をまつ。連理乃松に契りをあめて福大黒と目出度やな

チハロ ツレハ●チハロ ハ●チレ―

ツ●レ―○(ツ●ロ)ツ―ツ●ロ ツ―
 ツ●レハ ウ●レ●ウ●ツ●レツロ―
 ハ●チハロ ツレハ●チハロ ハ●
 チレ―ツ●レ―○(ツ●ロ)ロツ―ツ
 ●ロ ツ―ツ●レ ウ●レ●ウ●ツ●
 レツロ―ハ●チハロ ツレハ●チ
 ハ●ロ 滋賀の 五●ハ●チレ―ツ●レ―○(ツ●ロ)
 ツ―ツ●ロ ツ―ツ●レ ウ●レ●ウ
 ●ツ●レツロ―ハ●チハロ ツレ
 ハ●チハロ ハ●チレ―ツ●レ―○
 (ロ●ハ) 乙●ロツレツハハウ●レ ツ●レ
 乙

のまつ ウツレ (ツ・ロ) ひちほん ロルツロ 目 ツーツ
 は ウ・レ・ウ・ツ・レツロ・ハ
 はちほん ウウハロ 目 ツレハ・チハロ はま ツロ
 の乙 ま | ロレ (ツ・ロ) 乙 ツロハ 小
 ま 乙 ツツレ・ウ・レ・ウ・ツ・レツ
 ら バ ○ チハロ ツ・レ ハ・チハロ
 伊勢 の | ツ・レ (ツ・ロ) ツ・ツ ロツ
 つ ハ 有情 | ロツレウ ツ・レ ツロハ・チ
 ハロ ツレ ハ・チハロ ハ・チレ
 ツ・レ (ツ・ロ) ツ・ロ ハツロロ (ツ
 甲 ツ・レ | 乙 ツレウ ツ・レ ツ
 乙 ツ・レ | 乙 ツレウ ツ・レ ツ
 甲 ツ・レ | 乙 ツレウ ツ・レ ツ

| ハ・ハ・レ・チ・ハツ・レハ・チハ
 や ハ・チレ | ツ・レ (ツロ) ツ ロ
ま ハ ツ ロ ハ ロ ツ ツ ロ ツ ツ
 レ | ツ レ ウ リ ウ レ ツ ロ ツ レ
 ツ ロ レ ハ チ ハ チ レ
 く レ ツ ロ ハ チ レ チ ハ
 た ハ チ || ハ

第廿六

な の は 一上り

かわはどのいふと誰かはしめなん、外は座敷はう
 は乃そら合もとさは参ると、あめす心の何とあさり
 合うへく様のちわぶみも別よ、かえらぬ様参る合
 思ひまはせはもふたるなふて。言葉さけたら思ふ事
 〇 かの葉に。とはれ蝶のあさ

第廿七 かなふり

本調子

戀のれもよのな。エ嶋の内たくりむかひよ。かく籠の
たれくあらふとこまひな合棒をなほ。くゝり付た
る灯ちんの合日あらの約束して來たなエたかあるも。
むくるもむろの道なエ合立るたてぬ乃。いき杖もつ
まぬ樂しみぬきんをせをせ夢の通路なエ

まひののまろのな
 ロ●ツーロ・ハ○ローロツレーレ●ツ
 |ロ|| (ハイイ) ツ●ツ●ローハイウ
 |レ(ツ●レ)レウーウウハ●ロ●
 ハウレ(ハイ)ハロ●ツレウレーレ
 レツレ●レウツロハ○ツローハ
 チハーツレ(ウハロハ)ロロツハロ
 甲チーレ)ツレーウ●レーレチ(ツ●ツ

●ロ●ツ●ツ●レウレツーロハハ
 |ロ●ツレ||ツロ(ハイ)チ●チレレ
 |ツロ●レ●ツレツ●ロ●ツハロ
 |ハチチハロツレウ●レツ●レ
 ツ●ロ●ハ|チハーハ|ロ●ロ●
 レウーウーレ●ツ●ロ●ハハロツ
 ●ツレハ|ローハチレ●ロハウウ
 |レ(ハイソ)ツ●ロハチレレツロ
 ||ツレレチレレツツレーツ
 |ロハイイロ●ロ●ロ●(レー)ロロレ
 ●チハローハチーレハーチーレ)

甲 八^たチー^るチ・チ^た・チ^て・レ^んツ^の・ツ^のー^{四六}ロ^のー^レ

●チ^ゑー^ゑピ^ゑ・チ^ゑ・レ^ゑ・チ^ゑー^ゑレ^ゑツ^ゑロ^ゑー^ゑハ^ゑ

ロ^ゑー^ゑツ^ゑレ^ゑレ^ゑウ^ゑハ^ゑー^ゑツ^ゑー^ゑロ^ゑチ^ゑ・レ^ゑ

チ^ゑツ^ゑ・ロ^ゑハ^ゑロ^ゑロ^ゑロ^ゑツ^ゑレ^ゑ・ウ^ゑレ^ゑ・ツ^ゑ

レ^ゑ・ツ^ゑロ^ゑツ^ゑハ^ゑチ^ゑレ^ゑハ^ゑハ^ゑレ^ゑハ^ゑハ^ゑハ^ゑロ^ゑロ^ゑ

ツ^ゑツ^ゑレ^ゑ・ツ^ゑロ^ゑハ^ゑイ^ゑレ^ゑ・ツ^ゑ・ロ^ゑハ^ゑ

●イ^ゑハ^ゑ・イ^ゑロ^ゑー^ゑハ^ゑ・イ^ゑロ^ゑー^ゑ

第廿八 すりばち 二上り

海山を越て此世に。住おれて合ひよく連理と合契り

と中も煙をたつるまづのめか合まゝる心に。逢えぬ

日もあふ日もよるは。ひとりねの合くれをむしみて

○まづ山かつらひるのみ。くらす里もあれ

ツ^らレ^みー^やハ^ゑ・レ^まー^をレ^を・ツ^をロ^をハ^を・○^を(ウ^をー^を

ハ^ゑ)ツ^ゑロ^ゑ||^ゑロ^ゑロ^ゑロ^ゑ||^ゑロ^ゑロ^ゑ・ハ^ゑー^ゑ○^ゑ

(チ^ゑハ^ゑヤ^ゑ)ツ^ゑレ^ゑー^ゑツ^ゑロ^ゑハ^ゑ・ウ^ゑ・ハ^ゑー^ゑ

チ^ゑレ^ゑー^ゑハ^ゑー^ゑチ^ゑレ^ゑー^ゑ(ツ^ゑレ^ゑウ^ゑー^ゑツ^ゑ

○チ^ゑハ^ゑー^ゑチ^ゑレ^ゑ)ツ^ゑレ^ゑー^ゑハ^ゑ・チ^ゑレ^ゑ・レ^ゑ・

チ^ゑ||^ゑチ^ゑー^ゑハ^ゑ(チ^ゑハ^ゑ・ヤ^ゑ)ツ^ゑレ^ゑー^ゑツ^ゑロ^ゑハ^ゑ

ー^ゑハ^ゑー^ゑハ^ゑー^ゑロ^ゑ・ウ^ゑハ^ゑー^ゑチ^ゑレ^ゑチ^ゑレ^ゑ・

ツ^ゑ・ツ^ゑ・ツ^ゑレ^ゑウ^ゑ・ハ^ゑレ^ゑー^ゑツ^ゑロ^ゑハ^ゑチ^ゑハ^ゑ

ハ^ゑロ^ゑツ^ゑレ^ゑハ^ゑハ^ゑ・チ^ゑレ^ゑー^ゑ(ツ^ゑレ^ゑウ^ゑウ^ゑ・

レ^ゑー^ゑツ^ゑレ^ゑレ^ゑ||^ゑ○^ゑツ^ゑレ^ゑウ^ゑウ^ゑハ^ゑロ^ゑチ^ゑ

レツ ロハチーチ○チーハーチー
 レー ツ レツローハ ウ・ハ・ロ・
 ツレレ ハチハ・チレー○レーツレ
 ツレレ ツレーレ^甲 ハチ^甲 || ち^乙
 レツ (ツロツレ) レウーハ^甲 レレ^乙 レ^日
 ツロハ^乙 ロロツ^乙 レ^乙 ツ^乙 ロ^乙 ハ^乙 チー
 ウチーハ (チハヤ) ツーロ^乙 ツレ
 糸 ハチハ・ロ (ツロ ハイチ・チ ハチ・
 レ○ロロハチハレーハレーツロ
 乙 ロツレツレ^甲 チーレ ツロ・ハ^乙 ハ
 ーロツ^乙 ツ^乙 ツ^乙 ロ^乙 ツー^乙 ツ^乙 ハ^乙

第廿九 扇の戀

二上り 末三下り

チ || ち^乙 ●レ^乙 ツ^乙 ● (ツロ ツ●レ) レ^乙 ウ^乙
 ーレ^乙 || レ^乙 ●チ^乙 ●ロ^乙 ツ^乙 ●ロ^乙 ツー^乙 ロ^乙 ハ^乙 チ^乙 ●
 レ● ツー^乙 ロ^乙 ーハ^乙 (チハヤ) ハ^乙 ●レ●
 ツー^乙 ロ^乙 ーハ^乙 (チハヤ) ツレ^乙 ー ツ^乙 ●
 ハー^乙 チ^乙 レ^乙 ハ^乙 ーチ^乙 ー ハ^乙 ー

花ちらぎ合とりなき風の袖扇。さるお乙女の。手にな
 れて。あふぐまゝの涼しの緒の合振り。たもとよ
 かけまひの(手事)にほふまぐらの其甲斐もなふ合立
 る姿の合柳かな合帯のはたえよま、れりされど。緒
 の。一重がほゝならぬ

はな ち ● ハー^乙 チ^乙 レ^乙 ● ハ^乙 レ^乙 ● レ^乙
 ち^乙 ハ^乙 || (ち^乙 ● ハ^乙 ● ロ^乙 ● ロ^乙 ツ^乙 ハ^乙 ● ハ^乙 ー

チレ—ツ^とツレ—レ^なツ^レツ^ろ—^{五〇}
 ハ^かハ^せハ^のチ^をハ^レツ^でハ^ろロ^ろツ^あ
 ハ^ふハ—チ^ぎレ^〇(レ^ツ)ツ^すレ^あハ[〓]
 チ^あレ^ツレ^ち・チ^{女甲}・レ^ツの^甲(ツ^ろツ^〇)
 甲レ^手—チ^にハ^なレ^ツツ^ろ・ハ^て—チ^〇ハ[〓]
 ツ^あロ[〓]ロ[〓]レ^こ・ツ^ろロ[〓]ハ^る・ロ^ツツ^の
 甲レ[〓]ハ^ち・チ^のハ^レ—ツ^きレ[〓]—ハ[〓]
 〓^のツ^ろ(ハ^ちハ[〓]ハ^ちハ[〓]ハ[〓])
 ツ^ツツ[〓]ロ[〓]ツ^の—ツ^ろ〓^ろツ^たレ[〓]
 ハ^ど—チ^にレ[〓](チ^ツ)ツ^かレ^ツ・ロ^こロ[〓]ツ^ひ
 〓^ろ・ハ[〓]—ハ^は〓[〓]レ[〓]—チ[〓]—ハ[〓]

ーウ[〓]レ^レレ^レレ^レハ[〓]ウ[〓]ハ[〓]ハ[〓]—チ[〓]
 〓^レ・ツ[〓]レ^レチ^ハハ[〓]イ[〓]ハ[〓]チ^レレ^レ
 チ^レツ^ろツ[〓]レ[〓]〓[〓]ツ^ろ—ロ^ハツ[〓]
 〓^レ・チ[〓]ツ^ろ—ハ[〓]ツ^レチ[〓]レ^レレ^レ
 〓^チハ[〓]ハ[〓]—チ^レツ^ろ—ハ[〓]ツ^ろツ[〓]
 ツ^ろハ[〓]キ^キハ[〓]チ^ハレ^ツ—レ^ウ
 〓^ウレ[〓]チ[〓]ハ[〓]チ[〓]レ[〓]ツ[〓]ロ[〓]〓^レ
 ハ[〓]ハ[〓]—チ^レエ[〓]ツ[〓]レ[〓]チ[〓]ツ^ろ—ハ[〓]
 ツ^レチ[〓]レ^レエ[〓]チ^ハハ[〓]—チ^レツ[〓]
 〓^ろ—ハ[〓]ツ^ツツ^ろハ[〓]ロ^ロハ^ウウ[〓]
 〓^レツ[〓]—レ[〓]チ[〓]—チ^レチ[〓]ハ[〓]チ[〓]

レ・ツ・ロ・〇レハ・ハーチレレ
 ツ・レ・チ・ツロ―ハ　ツレチ・レレ
 ・レチハハ―チレ　ツロ―ハ　ツロ
 ツツロハ　キキハ　チチレツ―レ
 チ―チレ　||　チ・ハ・チ・レ・ツ・ロ
 〇レハ　ハ―チレレ　ツ・レ・チ・ツ
 ロ―ハハ　ウ・ハ・ウ・レ・ツ・レ
 チ・チレ　||　チ・ハ　チ・ハ　ハ・レ
 ハ・レレ　||　ハ・レ　ツ・レレ　||　甲　ロ　ハ　チ
 レ　ツ　レ　ウ・レ　||　チチチハ―〇〇
 ちチチハ―〇ちチハ―　チチハ―

ハ・ヤ　ハ・ヤ　ハ・ヤ　ハ・ヤ　ハ・ヤ　ハ・ロ・ハ・
 チ・レ・ツ・レ・ウ・レ・ウ・ツ・ロ
 |ハロ　チ・ハ　ツロハ―チレ　ツ―
 ロロ―ロロレ・ウ・レ―レ・ツ・
 ロ || ^{三下り}レ^にロ^に || ^ろロ―^ろツ^ろレ―レ^らツ・
 レロ　レ^そチ―^あチ・ハ^をロ^甲　ツ^ばロ^甲ロ^ハ
 チ―レ　チ^せ―レ^にツ^レ　(ロハロロ
 |ロレレ―レ)　ツ^たレ^て―ウ^るレ・ツ^ろ―^ろ
 |^そロ―^たロ^がハイハ^のロ(ツレチチレツロ
 |^やツ)ツ^な・レ^き・チ―^かヒ^か・ハ^チ　チ^レツ
 |^なハ^甲ウ^ハハイハ　^甲ロ^ロハウ^レ　ハウ

レ^かチーレ^チツ^ハ・ロ^ハ(ハ^ハ・ハ)ウ^なハ^にツ

●チ ハ^チレ^ツーレ^チレ^ツロ^ツ

レ^レチ^ハイ^ハチ^レレ^レレ^レツ^レ

レ^レ・ツ^ロ・ツ^ツ(ハ^イ・^ロ)ハ^ハ・^ロ

ツ^ツ・レ^レ・チ^ハ・イ^レレ^レチ^レレ^ツロ^ハ

(ウ^ウー)ウ^ハハ^ハロ^ロ

ロ^ハーハ^ハ・^ロ(ハ^イ・^ロ)レ^ウウ^レ

レ^レツ^ローハ^チー^チハ^ウー^ウ

(ハ^イツ)ツ^ツー^ツロ^ハ・^ツ・^ツ

ツ^ツー^ロレ^レツ^ロハ^ハ○(チ^ハイ^ハ・^ロ)

ツ^レチ^ハイ^チ・レ^ツロ^ハイ^ハ・^ロ

ハ^イハ^チ・チ^レレ^ロツ^レレ^ウ

ウ^ウ・ウ^チー^ハキ^ハー^ハチ^レツ

ツ^ツー^ロレ^レツ^レツ^ロハ^ロレ^レ

第卅二

おとしふみ

三下り

何方へをいってゆくらんほど、ぎす。まくらぶ山の。

迷ひみち聞きたび。たびに幾つらしく。ふつもの初音

乃。ま、ちとて合可愛かあいのとぶびねよつぎぬ名

残や有明のきつうなるたふ。あけがらす

ツ^いロ^ろー^かツ^か・ハ^いー^いロ^たー^ろ・ハ^ウー

レ^へ（^レー^ツレ^な）^レレ^てー^レツ^レウ^ゆ

レ^レウ^レレ^ツー^らロ^ん・ハ^ーハ^はハ^ハ

ツ^とレ^レレ^ぎー^ツロ^ハ・ハ^す（^ウ・^ハロ^ーロ[・]ロ[）]

レ^はー^ツロ^ーロ^ら・ロ^のレ^やツ^まー^ロ（^ツロ^の

ハ^ーロ^ま）^ロツ^よー^ツロ^ハ・ハ^ッー^ロハ^ハ

ウ^ーレ^ちウ^さハ^くハ^たハ^ハー^ちレ^レ

チ^ハ（^チハ^ハー^ロ・^レチ^ーチ^ー

レ^ーツ^しー^ロー^ハ（^ロー^ツレ[）]ハ^ハ・^ハ

ー^チレ^も（^ウー^レ）^ツレ^ハ・^レレ^ねレ^乙

（^ツ・^レツ^レ）^ウー^ウレ^ち・^ツロ^ハー^ロ

ツ^ーレ[・]ツ^ロハ^ーイ^ロロ^ーロ[・]

・^ロ○（^ツロ^ハー^ハウ^ウール^ツト

ウ[・]レ[・]ツ^レレ^レレ^レレ^チハ^ー

チ^ーレ^ツロ^ハイ^ハロ^レ・^ロー^ハ

ウ^ーウ^レウ^カー^ウウ^イ・^ウレ^カチ^ーチ^い

ハ^チレ^ーツ^ハイ^のハ^ウデ^ウト^デ

ウ^レ・^ツレ[・]ツ^ロハ^ーウ^二つ^きぬ

ハ^ロー^ハウ[・]レ^ーツ^ツソ^ーハ^ロ

ツ^けレ^のロ^のー^のロ^の・^のロ^の ツ^きレ^つ||ツ^なー^いロ^ハ
 イ^た・ウ^あー^あレ^あ(ハ||)ウ^ほハ^けー^けウ^ウレ^レ
 ハ^ーロ^ツツ^がレ^ハハ^ら・^らウ^ーレ^す||
 ツ^ーレ^レ

第廿三 八千代おく 本調子

いつまでもかえらぬ御世に。あひたけ乃合代々は幾
 千代。八千代ふる(手事三段) 雪ぞかゝれる。松の二葉
 にゆきぞ。かゝれる。松乃ぬたはに

ツ^いロ^っー^ハ・^イー^ハロ^ハ ツ^まロ^ーロ^で・
 ハ^ウー^レレ^も・(チ^ハー^ヤ)ウ^あハ^らー^ぬヤ^ツ
 ロ^ーハ[・]ロ^み||ハ^よロ^にー^ハウ^ーレ^レ
 (ツ^レレ[・]チ^甲)ハ^あロ^ひー^ハチ[・]レ^チ

ロ^たハ^チ・^チチ^レツ^{||}ロ^の(ハ[・]イ^ロー^ー
 ロ[・]ロ[○]ロ^レレ^ーレ[○]ロ^レレ^レレ^代ツ^代
 ロ^ーロ^はー^ロハ^らー^ツレ^ーハ[・]イ^甲
 代^ハロ⁽ロ^レレ^レレ^レレ^八ツ^千||^代ロ[・]ハ^ーハ^甲
 代^レツ^ろー^ろろ[○](^レレ^レレ^レレ^手事^チ
 ||チ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レハ[・]ハ^甲
 イ[・]ハ^ロ・^ハイ[・]ハ^ロー^ロ○^レレ^ー
 ツ[・]ツ^ツ・^レツ^ロハ^ハイ[・]ハ^ロハ^甲
 イ^ハロ[・]ロ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レ
 ツ^ール^ツー^ルレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レ
 |ロ^ハハ^イハ^ロツ[・]レ^レレ^レレ^レレ^レレ^レレ^レ

ツロ・ハチーチ○チ・ハイハロロ
 レレー・ツロ ツレツ・レーウハウ
 ・レ・ツロ・ハイハロ ツツツツツ
 ロハ ロツレーツロ ハーロレー
 レハロ・ハウ○ウレツレ チハイハ
 ・ロ ツレレー・ツレウ||レ・レツレ
 ウ レツロ・ロ チツレ・ツロ レ・
 ツレチ ツーレ・レ・ツロ レツロ
 ●ハチ・チ ^乙ハレ・レー・ツレ ^甲ハイウ
 ーレツツレーツロ ツレ ^乙ハ・ハ
 イ・ハロ・ハ イ・ハ ロ||ロ ||

ツーロ ハ………ロ●ハ○ハハハチ
 ハレチハチレチ ハローハチ ハ
^乙チチ ^乙ロハチ ^乙ロハイハロ○レチツ
 ツ・ツツー レツロ ハハイハロチ ^甲
 ・レチレツツ・レツロ ハハイハ
 ロハイハロ●ロ |ロレーレロ●ハ
 |ロ ツールツールレレー・ツレー
 ツロ ハハイハロ ツ・レーツロレ
 ツロ・ハチーチ○チ・ハイハロレ
 レー・ツロ ツレツ・レーウ ハウ・
 レ・ツロ ハハイハロ ツツツ・ツツ

ロハ ロツレ—ツロ ハーロレ—レ
 ハ ロ・ハウ○ウレツレ チハイハロ
 ツレレ—ツレ ウレレレレツレウ
 レツロ・ロ チツレ・ツロレ・ツレ
 チツ—レ○レ・ツロレツロ・ハチ
 ●チ ^乙ハレ・レ—ツレ ^甲ハイウ—レ
 ツツレ—ツロ ツレ ^乙ハ・ハイ・ハ
 ロ・ハイ・ハ ロ||ロ ロ||ツ—ロ
 ハ………ロ● ハ○ハハチハレチ
^甲ハチレチ ハロ—ハチ ^甲ハチチロハ
 チロハイハロ○レ—レツ●ツツ—

レツロ ハハイハロ ^甲チレ チレツ
 ツ●レツロ ハハイハロハイハロ
 ●ロ |ロレ—レ |ロ●ハロ ツ—ル
 ツ—ルレレ—ツレ—ツロ ハハイ
 ハロ ツ●レ—ツロ レツロ・ハチ—
 チ○チ●ハイハロレレレ—ツロ
 ツレツ●レ—ウ ハウ●レ●ツロハ
 イハロ ツツツ● ツツロハロツレ
 —ツロ ハ—ロレ—レハロ●ハウ○
 ウレツレ チハイハロ ツレレ—ツレ
^甲ウ||レ●○レツレウレツロ●ロチツ

レ・ツロ | レ・ツロ ツレロ ツ・レ
 レー・ツレレ・ツロレツロ・ハチ
 | チハレレレ・ツレ ツ・ロハロー
 レ・レ ローレ
 ツロ || ローロ | ツロ || ロ ハイロ(レ)
 ハロ || ツ・ロハ || ハー | チレ |
 レー | チハ・ツロ・ハー | ロ | ツロ
 || ツーレー | チ(ハイ・ロ) | ツロ
 || ロ・ハウレレ | ロー | ツ || ハ
 イロ || ロ || ハウ || レ | ウ || ツ ||
 レに

秘曲之部

竹聲會主

角屋可好

第卅四 女雪月花

本調子

前吹 是やまの。夜半になくたづ。降るゆきの。みのころ
ころめれほひ羽にして合乃がれまを。軒端をやかに
月そすむ(手事)まゝもうき世のきが乃山と合別れま
し。吉野乃。花の蔭ならば合立まふ袖も嬉むらほト

(ローレ—ロ|| ローハウ|| ツレ||

チ—レツ ●ロハイ—ハウレ●ツ

—チレ—ツロ ツレチ—チレ ハ

—チレ ハイイ レ—チ—レツ●ロ

チチレツレ|| ツレ—ウウ ●レ^ヤ

●レレ—ツロ ハイロ ウ●ツ●レ^の—

(ウ—ハツ—ロ ハロツ●レツロ

レ・ロー・ハウレ　ウ・ハロレ・レ・レ
 ツロ夜半　ロ・ロー・ロ・ハ　ツに　ロ・ハウ
 レ　ツな・ツ・ツレ　ハたウレツ　レの　||
 レ　(レ・ツロレローハウレ　ツ
 |レチレ・ツロ)　ツふ・レ・ウゆ・レ
 チレツ・ロハの　(ハウハ・ロ　ツ・ツ
 ハ　ローハウレ)　レみウの　||　ウし　||　ウる
 ハチを　||　チレハも　ハお・チほ　レ・チレ
 ツひツ・ロ羽・ハ　ロに・ハロツレ・チし　|
 レて　||　レ　(ウウ　||　ウ　ハハ　||　ハ　ハ　|
 チレ　ツ　レ　チ　ハ　ロ　ツ　レ　ハ　||　ハ

チチ　ハ　ハ　ロー　ハウレ　チレ　ツ　ツ
 ツレロ　||　ハ　レ　ロ　ロ　レ　ロ
 ハウレ　ハ　ハ　レ　レ　○　ハ　ハ　||　イ　!　|
 ハ　ロ　ツ　ハ　ロ　ツ　ツ　ツ　レ　レ　ウ　レ
 ツ　ツ　ロ　レ　レ　ロ　ー　ハ　イ　ハ　レ　レ　ロ
 ハ　ウ　ハ　ツ　ツ　レ　レ　ロ　ハ　ツ　ツ
 ●　ロ　ハ　ウ　ハ　レ　レ　レ　○　ロ　||　ロ　ウ
 ||　レ　レ　レ　)　レのが　レ　レ　チ　ハ　ー　イ　ロこ
 |　ハ　チ　レ　レ　(　チ　・　チ　・　チ　チ　レ　||　ツ
 |レ　||　レ斬　レ　レ　レ　レ　ウさ　レ　レ　ツか　||
 |　ハ　チ　レ　レ　ハ　・　チ　||　ハ　ロ　レ　レ　チ

—レツ || レ || (手導) ハ……………

|| ヒハチ || レチピ || イーチーチレ ||

ハ ||—|| チレツ ||—|| ロ || ○ ハ ロ

ツレ ロ || ハウ ハウーウーレー

ヒ・ハウーウ○ウウレツツレハハチ

|| ハロ ツーロ レーツーロレ

ツロハツロハウレ ツーツエレツ

● ロロロー ハウレ ハロレー○ツ

トレチレ—ツロ○ツツレチレ—レ

ツロ—ハ・イハチ・レハ—ロ ツ●レ ||

|| ツロレ ハハチ・ ハ・ウ・レ・ツ・レ

—レ○ツツレレレ ウウレレハハ

●ロ ツレロ チチレレ ツツロ

●ロ ハハロツ レレツロ○チーチ

レチハウレ ハハイーハウ—レ

ハ—チハレ—レ—ツロ○ハハロ●

レレロ● ツツレ チツレ レレツ—

ツ チチレ●チレツ—ロ レツレ

—レツ レレチ—レツ—ロ○ツツ

●ロレ ハ・イハウ ツレチハロ

|| ハウレ ハ || ロ ツ ||—|| ロハウ

||—|| レ ||

ろーハイロ・ハウレ 七六
ハ

ハ^世イーロのチ^さレツ^がツ^のロ

(ツ^レ・チ) ハ^ヤレチ^ま・レ^さ・ツ^さ・ロ^さ

ハ^ロレツ^どロ ハウーハ^ローロ

(ツツ^レロレ^レロ^レハ^レウ^レー^レツ^レウ

レ^レー^レツ^レロ^レレ^レ・レ^レ・○^レチ^レツ^レチ^レチ^レー

チ^レハ^レレ^レツ^レツ^レレ^レチ^レツ^レレ

チ^レー^レハ^レー^レロ^レツ^レツ^レハ^レハ^レロ^レハ

・チ^レ・チ^レ・ハ^レロ^レウ^レウ^レレ^レー^レツ^レ・ツ^レ

ー^レレ^レロ^レー^レレ^レロ^レツ^レハ^レチ^レ・ハ^レツ^レレ^レレ^レ

ウ^別ツ^レウ^レー^レウ^レレ^レレ^レー^レロ^レー^レハ^レ

ロ^レ・ツ^レー^レレ^レレ^レレ^レ(ウ^レ・レ^レ・ウ^レ・) ハ^レウ^レ

|| ウ^レ・レ^レ・ツ^レの(ツ^レ・レ^レ・ツ^レレ^レウ^レ・)

ハ^レ・イ^レレ^レー^レチ^レツ^レレ^レツ^レー^レロ^レ・ハ^レ

ツ^レー^レロ^レ・ツ^レツ^レレ^レ・ウ^レレ^レー^レツ^レロ

ハ^レイ^レ・ロ^レ(ロ^レー^レハ^レイ^レ・ロ^レ・ツ^レー^レレ^レ||

・レ^レウ^レー^レウ^レ・レ^レツ^レー^レツ^レ・レ^レハ^レウ^レレ^レ

ー^レレ^レチ^レー^レレ^レツ^レ・ハ^レー^レロ^レレ^レー^レロ^レ

ー^レハ^レウ^レー^レレ^レ||ツ^レレ^レレ^レレ^レー^レツ^レロ^レ

(ツ^レ||レ^レ)ハ^レイ^レロ^レ・ツ^レレ^レウ^レレ^レー^レツ^レロ^レ

(チ^レ・レ^レー^レツ^レ・レ^レウ^レレ^レロ^レツ^レレ^レー^レ)^レ

れ^レツ^レ・ツ^レハ^レ||ハ^レロ^レ・ハ^レ・チ^レ・レ^レ・

ツ・チーハロ|| ツーレ・ロー
ローハウ・ハウ|| レ||

第卅五 松上鶴

本調子
末三下り

前吹 風の音は。静りはてゝ。千代よはふ。たつがね。高
し峰の松ぼら(手事、二段三下り) 榮えゆく細園乃松よ。
もなつるの(手事)千代のをと免の。聲をきかばや。千
代乃はと免の。聲をきかばや

ローツレチ ツーロ ハ・ロ レ
ローハウ・レ○ローハウ・レーレ・ツ
| ロ ツーロハロレ|| ローレ
ハローツ|| ハイ ローハウハウ
レ(ローツレーレ) レチ|| チー

チ ハ・ロハウーレ ツーレ ハチー
レ チーレツローハロツレーツロ
|| ツハローロ・ロロレ(チ・レ
ツ・レ ハチレ||ロ) ハローツレ
レレ・ツロ(ハロツーレ・ツ・レ)
ツ・レがチチ(チ・レ) チレツーレ
レチーハローレ○レツレチレ
レレ|| ツロ○(手事)ハ・ロ・ツレ・ツ・
ローハ○ロハウーツレーレ○ヒヒ
ハ・ハ・ハ ヒヒ ハイイ ハイハチ
レレレ・ツロ○ロ・ハハイー ツツ

レツレーツ・ロツ ハイハウ ハウ
 レツレーレ〇ツーロツ ハーハツ
 ロハウーレ ハウレレレ・ツロ
 ツーツーハーハ ローハイロー
 レツロハローロ ハウレレレー
 ツロ ツーハイ|| チレツツレ
 || ツーハイ|| チレツツレ
 || 〇レーツロ ハハロ レ・ロハロ
 ハウ・レーツレ チチレレレー
 ツロー ツーハイ|| レレロツ
 レ|| 〇ハイ|| レレロ|| ハハイ

レレロ|| ハハイ・レレロ・ハハ
 イレレロ〇ロ・ロ・ハウ・レ カラ
 カラロ レエレエレ・ロ カラカラ
 ロ ハハイハイ レエレエレ・ロ
 カラカラロ〇ウ・レ・ツ・ロ・ツ・
 ハ・チ・レ・チハロ・ハウーレ
 ツレウウレーレ〇ロー ハハロ
 ツーハイロ ツーロツ ハーハツ
 ・ロハウーレ ハウレレレーツロ
 ツーツーハーハ ローハイローレ
 ツロハローロ ハウレレレーツロ

○ツーハハイ チ・レツツレ

ツーハハイ || チ・レツツレ || ○レ

ーツロハハロ レ・ロハロ・ハウ

レーツレチチ・レレレーツロー

ツーハハイ || レレロツレ || ○

ハハイ || レレロ || ハハイ || レ

レロ || ハハイ・レレロ・ハハイ

レレロ○ロ・ロ・ハウ・レ カラカラ

ロ レレレレレレ・ロ カラカラロ

ハハイハハイ レレレレレレ・ロ

カラカラロ○ウ・レ・ツ・ロ・ツ・

ハ・チ・レ・チハロ・ハウレ

ツレウウレーレ○ツツレレチチ

レレハハロロツレロ レレロハ

ツーロツ ハハイハロ○ロロハハ

ロロハハ || ロハウレーレーロ

ロ || ロツ レ || レチ ハ || ハ

ハ || (三下) ツ・ローハロツレーレ

ロ ツーレツレ || レウーレチ・レ

|| ツロ・ハローロハイハウレ (ツ

レ) ^{ひな}ウーウレーツロ ^るハイロ

ロ・ロ ○ (手事) (ハハローハハロ

ツ^ルーツ^ノ・ロー^ハ（ハ^ロ）^レウ^ニー^レー^ツ ^{八六}
 ロ^ハ・ハ^ツー^ロ・ハ^ロ ^カロ^ハ ^レウ^ニ ^レ ^ハ
 ー^チー^ツ ^レ ^ハ

尺八のしをり初編終

明治三十六年八月廿九日印刷
 明治三十六年九月二日發行

定價 金廿五錢

三重縣飯南郡松阪町竹聲會主

著作者 角屋可



三重縣飯南郡松阪町

發行所 竹聲會

三重縣飯南郡松阪町大字白粉町
 拾二番屋敷

代表者 角屋七郎次郎

三重縣飯南郡松阪町大字中町
 百五拾九番屋敷寄留

印刷者 松本爲三郎

三重縣飯南郡松阪町大字中町
 百五拾九番屋敷

印刷所 長谷川活版所

發行所 竹聲會
 發賣所 各地書肆

正誤表

頁數 行順 字順

誤正

一〇 十 七以下 左ノ如クヲ削リ次行九字十字ノ間ヘ加フ

一一 一六 四 四分音

一六 一三 一三三 問

一七 三 八九 下合チ加フ

一八 九 以下

一九 七 四以下

二〇 六 七 八

二一 七 九 七 八

二二 一 九 一 二 三

二六 七 八 九 一 二 三

二九 四 六 六 六 六 六 六

全 七 七 七 七 七 七 七

全 八 八 八 八 八 八 八

全 十 十 十 十 十 十 十

全 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二

全 十四 十四 十四 十四 十四 十四 十四

全 十六 十六 十六 十六 十六 十六 十六

全 十八 十八 十八 十八 十八 十八 十八

全 二十 二十 二十 二十 二十 二十 二十

全 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二

全 二十四 二十四 二十四 二十四 二十四 二十四 二十四

全 二十六 二十六 二十六 二十六 二十六 二十六 二十六

全 二十八 二十八 二十八 二十八 二十八 二十八 二十八

全 三十 三十 三十 三十 三十 三十 三十

全 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二 三十二

全 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四 三十四

全 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六 三十六

全 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八 三十八

全 四十 四十 四十 四十 四十 四十 四十

全 四十二 四十二 四十二 四十二 四十二 四十二 四十二

全 四十四 四十四 四十四 四十四 四十四 四十四 四十四

全 四十六 四十六 四十六 四十六 四十六 四十六 四十六

全 四十八 四十八 四十八 四十八 四十八 四十八 四十八

全 五十 五十 五十 五十 五十 五十 五十

全 五十二 五十二 五十二 五十二 五十二 五十二 五十二

全 五十四 五十四 五十四 五十四 五十四 五十四 五十四

全 五十六 五十六 五十六 五十六 五十六 五十六 五十六

全 五十八 五十八 五十八 五十八 五十八 五十八 五十八

全 六十 六十 六十 六十 六十 六十 六十

全 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二 六十二

全 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四 六十四

全 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六 六十六

全 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八 六十八

全 七十 七十 七十 七十 七十 七十 七十

全 七十二 七十二 七十二 七十二 七十二 七十二 七十二

全 七十四 七十四 七十四 七十四 七十四 七十四 七十四

ナ中無星ニ大小ハアレド何レモ同一ナルベシ

全 十 二 十 二 十 二 十 二

全 九 一 九 一 九 一 九 一

全 八 二 八 二 八 二 八 二

全 七 三 七 三 七 三 七 三

全 六 四 六 四 六 四 六 四

全 五 五 五 五 五 五 五 五

全 四 六 四 六 四 六 四 六

全 三 七 三 七 三 七 三 七

全 二 八 二 八 二 八 二 八

全 一 九 一 九 一 九 一 九

全 十 十 十 十 十 十 十 十

全 十一 十一 十一 十一 十一 十一 十一 十一

全 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二

全 十三 十三 十三 十三 十三 十三 十三 十三

全 十四 十四 十四 十四 十四 十四 十四 十四

